

男子プレーオフ進出4チームが決定！

～第33回日本ハンドボールリーグ第18週～

第33回日本ハンドボールリーグ第18週は2月21、22日に愛知などで男子5試合、女子3試合が行われ、男子では首位の大同特殊鋼を追う湧永製薬が5位のトヨタ紡織九州に32-30と競り勝ち、豊田合成に順当勝ちした大崎電気、北陸電力戦をものにしたトヨタ車体を含め、男子プレーオフ進出4チームが出揃った。女子はHC名古屋に41-20と大勝したソニーセミコンダクタ九州の2位、首位のオムロンに敗れた北國銀行の3位が決まった。

男子の大同-琉球コラソン戦は、大同の強力な攻撃に対し、琉球は高いプレスディフェンスで対抗する形でスタート。大同は堅い守りとGK高木の好セーブから連続速攻につなげて開始6分6-0とリードを奪うと、その後も水野裕紀、志慶真のサイドなどで追い上げる琉球に対し、武田らで着実に得点を加えて前半を16-8で終了。後半も11得点をマークした末松らの活躍で危なげなく勝利を飾った。

混戦のプレーオフ争いで注目が集まった湧永-紡織戦は、すべり出しにGK松村の好セーブでリズムをつかんだ湧永が10分6-1と先行。ここで紡織がタイムアウトをとってリズムを取り戻したが、古家らで追加点を奪った湧永が14-10とリードして前半を終了。後半に入って紡織が積極的なディフェンスからの速攻や村上秀のサイドなどで追撃、23分26-28と2点差まで追ったが、湧永は福田のロングなどでしっかりと要所を締め、そのまま優位をキープしてプレーオフ切符を獲得する貴重な白星を握った。

大崎-豊田合成戦は、前半6分過ぎからGK東の連続ファインセーブでリズムに乗った大崎が、永島のポスト、岩永のミドルの連取を皮切りに多彩な攻撃でスパートをかけ、21-16と5点リードで前半を終了。後半立ち上がり、合成も今村、大橋のミドル、桶谷のサイドなどで3点差まで詰め寄ったが、この後は大崎・宮崎の速い動きとパス回しにディフェンスを崩され、前田らで5連取した大崎が15分には30-20とリードを広げて試合の大勢を決めた。

女子はオムロンが北國を相手に高さを生かしたポストとのコンビプレーなどで優位に立ち、藤井の7mスローなどで17-12と5点リードで前半を終了。後半に入ると北國は持ち味のアグレッシブなディフェンスから若松の速攻やGK下地の好守などで反撃を開始。オムロンはパスミスが目立ち、本来の攻撃ができずに苦しい展開が続いたが、12分過ぎから東濱のカットイン、佐久川の速攻などの4連取でペースをつかみ、地元の声援に後押しされた北國の追撃を振り切って勝利をつかんだ。

ソニー名古屋戦は、いきなり速攻から6連続得点を奪ったソニーが試合の主導権を握り、高橋玲のサイドなどで反撃する名古屋に19-11と大差をつけて前半終了。後半もソニーペースが続き、19分からの10連取で一気に名古屋を突き放して2位の座を守った。(2ページ目に続く)



㊤大同特殊鋼・山城 ㊦ソニーセミコンダクタ九州・東

第19週の日程

2月28日(土)	岩手	岩手県営体育館 (IGR岩手銀河線青山駅徒歩5分)	13:00~(女)	HC名古屋 × 北國銀行
			15:00~(男)	大崎電気 × トヨタ車体
	愛知	枇杷島スポーツセンター (名鉄名古屋本線東枇杷島駅徒歩7分)	13:00~(男)	大同特殊鋼 × 湧永製薬
	三重	鈴鹿市立体育館 (近鉄名古屋線白子駅バス「体育館前」徒歩5分)	13:00~(女)	三重バイオレットアリス × オムロン
3月1日(日)			15:00~(男)	H o n d a × 北陸電力
	沖縄	浦添市民体育館 (琉球バス「浅野浦」徒歩1分)	15:30~(男)	琉球コラソン × 豊田合成
	佐賀	トヨタ紡織九州クレインアリーナ (JR長崎本線神埼駅車10分)	14:00~(男)	トヨタ紡織九州 × トヨタ自動車
	鹿児島	霧島市国分体育館 (JR日豊本線国分駅徒歩20分)	14:00~(女)	ソニーセミコンダクタ九州 × 広島メイプルレッズ



Honda・野嶋

トヨタ車体が最後のプレーオフ切符を獲得

そのほかの3試合では、トヨタ車体が北陸電力を相手に佐々木のサイドや門山のカットインなどで有利に試合を進め、16-11とリードして前半を終了。さらに車体は後半の出だして北電の退場で得たパワープレーチャンスに着実に加点、3分過ぎに19-12と7点差としたあとも終始セーフティリードを保ち、4枚目のプレーオフ切符を手中にした。

Honda-トヨタ自動車戦は、Hondaが14-12と先行した後半立ち上がり、横地の強打を皮切りに大井、鶴見の速攻などで9分までに6点を連取。自動車も10分過ぎから山口の連続得点をきっかけに反撃に転じ、相手退場もからんで残り5分22-27と詰め寄ったが、時すでに遅かった。

女子の三重バイオレットアイリス-広島メイプルレッズ戦は、三重がG K浅井の活躍もあって前半を2点リード、後半も開始早々に3連続得点をマークしてこの試合最大の5点差をつけた。しかし、広島もこのあと得点ペースが鈍った三重を急追、大前の速攻などで16分20-20の同点に追いついた。その後、両チームG Kの好セーブで得点が止まり、残り1分24-24の同点のまま試合終了となった。

レギュラーシーズン最終となる次週は大同特殊鋼-湧永製薬、大崎電気-トヨタ車体と、プレーオフ準決勝の組み合わせに直結する男子2試合に注目。女子ではプレーオフを控えたオムロンとソニーが、同勝点で4位に並ぶ三重と広島の挑戦をそれぞれ受ける。終盤好調の両チーム相手にどんな戦いぶりを見せるか。

<p>◆ 2月21日(土) 女子 石川・金沢市総合体育館</p> <p>オムロン 26 (17-12) 22 北國銀行 12勝1分1敗 8勝1分5敗</p> <p><0/1> K 勝田 下地 K <1/6> 1/4 城内 上町 2/7 0/1 安心院 宮前 0/1 0/1 巻 佐久川 0/0 0/0 西本 小野澤 0/0 6/7 4/9 藤井 横嶋 3/3 5/9 佐久川 野路良 2/4 2/4 坂元 武井 0/3 3/11 洪廷昊 田代 K <0/1> <0/1> K 藤間 仲宗根 5/12 2/2 0/0 高田 野路里 3/7 0/1 市村 井上 0/0 4/10 東濱 八十島 0/0 1/1 勝連 若松 5/13</p> <p>6/7 20/51 4(FPP)2 20/50 2/2 審判(高野・長澤) 観客 900人</p>	<p>◆ 2月21日(土) 男子 愛知・稲沢市総合体育館</p> <p>Honda 30 (14-12) 24 トヨタ自動車 6勝0分11敗 1勝0分16敗</p> <p>0/0 中谷 増田 K 5/9 鶴見 坂口 1/3 3/3 2/3 柳岩 口 1/3 1/1 河瀬 高野 0/0 4/11 竹田 栗崎 4/6 4/9 横地 小林 1/2 1/2 伊藤 多和田 7/16 3/3 青山 佐藤 K 0/1 瀬山 澤田 0/0 3/7 野嶋 成田 0/0 1/1 高木 出會 2/4 K 兼浦 稲本 K <0/3> 3/3 大井 光増 4/11 K 四方 山口 4/10</p> <p>3/3 27/50 11(FPP)5 24/55 0/0 審判(油上・中村) 観客 712人</p>	<p>◆ 2月21日(土) 女子 愛知・稲沢市総合体育館</p> <p>ユニセコング 41 (19-11) 20 HC名古屋 10勝0分4敗 0勝0分14敗</p> <p><0/1> K 中島 近藤 K <1/3> 8/13 郭惠静 池田 1/1 1/3 長野 佐藤 1/13 1/1 6/7 工藤 高橋瑛 2/11 3/3 亀山 菅谷 3/9 1/1 6/8 高栖 上野 7/8 <0/1> K 飛田 高橋玲 4/5 0/2 1/2 樋口 家城 K <1/1> 0/3 佐師 藤島 0/3 7/8 飯田 藤永 K 2/2 2/2 東生 川 0/0 1/1 和田 山本 0/1 3/4 川口 1/4 金城</p> <p>2/4 39/58 1(FPP)7 18/51 2/2 審判(寺内・細川) 観客 945人</p>
--	---	---



三重バイオレットアイリス

地域の企業に支えられて

わがチームは選手一人ひとり、働いている会社、職場が違います。主将の桂(3)=以下、かっこ内の数字は背番号=はテニスコートなどを持つ鈴鹿市のスポーツ施設、北村(8)はF1の舞台で知られるモビリティランド鈴鹿サーキット、森田(16)は鈴鹿農協、橋本(10)はホンダ四輪販売三重北、星野(13)と小川(14)は軽自動車を生産する八千代工業、伏見(9)はホンダ車を輸送するホンダロジスティクス、浅井(1)は地元ケーブルテレビのCNS...といった具合です。

所属会社のPRを兼ねて自分が働く会社を再認識してもらおうと、クラブニュースで「私の会社」という連載を始め、選手自身に書いてもらっています。選手たちは「チームメイトはこんなところで働いているのか」と互いに理解を深めて

いるようです。

職場が違うからこそ、勤務後の毎晩の練習では一つにまとまる努力をしています。合宿や遠征は結束を強める大事な機会です。忘年会も新年会もこれまでになく盛り上がりました。

日本リーグに参戦して3年目。それぞれの職場の同僚の励ましを受けて、

これからもがんばってきたいと思います。

(広報担当スタッフ・竹内宏行)

写真は浅井(前列中央)と勤務先の(株)ケーブルネット鈴鹿の皆さん





大崎電気・小澤

◆ 2月21日(土) 男子
愛知・稲沢市総合体育館

大崎電気 39 (21-16) 31 豊田合成
13勝1分3敗 3勝0分14敗

9/10	小澤	大立	K	<0/1>
4/7	前田	原	0/0	1/1
4/5	中川	黒木	1/1	
2/5	永島	大橋	10/16	
0/0	太田	桶谷	5/8	
0/0	酒井	加藤	3/4	
3/3	8/9 岩永	渡久山	0/0	
4/4	東俊介	今村	7/16	1/1
<0/1>	K 石原	中村	2/2	
0/3	秋山	芳仲	0/1	
1/1	2/2 猪妻	藤堂	K	<0/3>
0/1	望月	中島	0/0	
2/5	宮崎	米本	0/0	
<0/1>	K 東佑三	島中	1/7	

4/4 35/51 11(FPP)7 29/55 2/2
審判(佐々木・高原) 観客 1263人

◆ 2月21日(土) 男子
広島・東区スポーツセンター

湧永製菓 32 (14-10) 30 トヨタ紡織九州
13勝1分3敗 10勝2分5敗

<0/2>	K 志水	松野	K	<0/1>
0/0	木村	中嶋	2/6	
6/7	坂本	西端	1/1	
0/0	濱本	松信	1/1	
7/9	福田	村上秀	7/13	
0/0	吉田	呉相民	3/6	
0/1	佐藤	鶴田	0/1	
0/0	名嘉	海道	3/6	
2/2	5/10 東	阪	4/7	
<0/2>	K 坪根	谷川	K	<0/1>
2/5	新	木練	1/2	
6/6	武藤	鈴木	3/4	4/4
K	松村	船木	1/1	
4/9	古家	泉原	0/2	

2/2 30/47 14(FPP)7 26/50 4/4
審判(池淵・檜崎) 観客 886人

◆ 2月21日(土) 男子
沖縄・沖縄県立武道館

大同特殊鋼 36 (16-8) 16 琉球
16勝0分1敗 3勝0分14敗

0/1	11/17 末松	宮城	1/1	
0/0	浦田	久高	0/0	
4/4	富田	村山	1/5	1/2
1/2	地引	棚原	1/1	
8/9	武田	岡田	1/5	
2/3	岸川	積	0/0	
<1/2>	K 高木	池田	0/1	
2/2	李才佑	志慶真	3/5	
0/0	千々波	内田	K	
2/3	山城	水野矢	0/0	
K	東	内山	3/5	
5/6	白元喆	高田	1/8	
0/0	松永	石田	K	<1/1>
1/1	渡久川	水野紀	4/6	

0/1 36/47 2(FPP)3 15/37 1/2
審判(家永・福島) 観客 711人

◆ 2月22日(日) 女子
愛媛・松山市総合コミュニティセンター体育館

三重ハイク トライス 24 (14-12) 24 広島メイプル
5勝1分8敗 5勝1分8敗

<2/3>	K 浅井	堂面	K	<0/2>
2/5	横川	土屋	0/0	
5/6	桂	樹山	0/0	
0/0	石黒	前山	5/7	
1/2	宮下	植垣	0/0	2/4
0/0	谷口	李	3/10	0/1
0/0	北村	菅野	8/14	
3/3	1/3 伏見	坪井	0/0	
6/6	橋本	伊藤	2/4	
<2/3>	K 毛	坂口	0/0	
1/3	星野	安齋	0/0	
5/12	伊藤	石山	3/7	
K	森田	横田	K	<0/1>
		新城	1/4	0/1

3/3 21/37 7(FPP)9 22/46 2/6
審判(野島・石原) 観客 995人

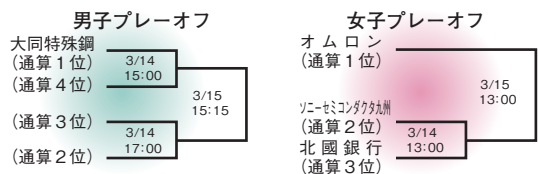
◆ 2月22日(日) 男子
愛媛・松山市総合コミュニティセンター体育館

トヨタ車体 32 (16-11) 23 北陸電力
12勝2分3敗 5勝0分12敗

	K 木下	高橋	2/5	
1/2	田中	神田	5/14	
3/4	佐々木	落合	5/8	
1/1	3/5 高智	桜井	1/9	
0/0	野村	前田	6/13	
2/3	藤田	高田	0/0	
1/2	北出	杉山	4/6	0/1
<1/1>	K 田平	大谷	0/0	
3/4	小沢	表	0/0	
0/0	0/0 長谷川	山原	0/0	
4/6	鶴谷	亀田	0/0	
1/1	2/5 香川	丸山	K	<0/2>
3/5	銘苺	石塚	0/0	
8/14	門山	有江	K	

2/2 30/50 10(FPP)9 23/55 0/1
審判(佐路・佐藤) 観客 1238人

ANA CUP プレーオフガイド



前回のプレーオフ決勝から <チケット情報>

月・日(曜)	開催地	会場	組み合わせ
3月14日(土)	東京	駒沢体育館	13:00 ~ (1) 女子・プレーオフ準決勝 ソニー (通算2位) vs 北國銀行 (通算3位)
			15:00 ~ (2) 男子・プレーオフ準決勝 大同特殊鋼 (通算1位) vs (通算4位)
			17:00 ~ (3) 男子・プレーオフ準決勝 (通算2位) vs (通算3位)
3月15日(日)	東京	駒沢体育館	13:00 ~ 女子・プレーオフ決勝 オムロン (通算1位) vs (1) の勝者
			15:15 ~ 男子・プレーオフ決勝 (2) の勝者 vs (3) の勝者

券種	席	価格
(1) アリーナエリア	アリーナエリアで観戦いただけます。 指定席ではありません。	2,800円
(2) 一般・大学生	アリーナエリア以外の一般席で観戦いただけます。	2,000円
(3) 中高生		1,000円
(4) 小学生以下	全席自由席。	500円

◎前売り券販売について
チケットぴあにて好評発売中。
Pコード 813-616
※価格は、前売・当日券とも同価格です。

男女個人賞レース 第18週終了

《男子》

《女子》

得点王

1 末松 誠 (大同特殊鋼)	132点	(17試合)	1 上町 史織 (北國銀行)	125点	(14試合)
2 村山 裕次 (琉球コラソン)	121点	(17試合)	2 郭 惠 静 (ソニー)	105点	(14試合)
3 宮崎 大輔 (大崎電気)	115点	(17試合)	3 樋口 真央 (ソニー)	75点	(14試合)
4 竹田 寛明 (Honda)	109点	(17試合)	4 藤井 紫緒 (オムロン)	72点	(13試合)
5 中畠 嘉之 (トヨタ紡織九州)	102点	(17試合)	5 横嶋 かおる (北國銀行)	66点	(14試合)
6 村上 秀行 (トヨタ紡織九州)	97点	(17試合)	5 東濱 裕子 (オムロン)	66点	(14試合)
7 柳本 義文 (Honda)	95点	(17試合)	7 李 キョンミン (メイプルレッズ)	65点	(14試合)
8 門山 哲也 (トヨタ車体)	93点	(17試合)	8 佐久川 ひとみ (オムロン)	63点	(14試合)
9 新 建 二 (湧永製薬)	89点	(17試合)	9 洪 廷 昊 (オムロン)	62点	(14試合)
10 高田 匠 (琉球コラソン)	85点	(16試合)	10 佐藤 由紀恵 (HC名古屋)	59点	(14試合)
11 神田 友和 (北陸電力)	83点	(17試合)	11 植垣 暁恵 (メイプルレッズ)	57点	(14試合)
12 東 慶 一 (湧永製薬)	78点	(17試合)	12 高栖 由香 (ソニー)	56点	(14試合)
12 光増 由矢 (トヨタ自動車)	78点	(17試合)	13 城内 真紀 (オムロン)	53点	(14試合)
14 白 元 喆 (大同特殊鋼)	77点	(16試合)	13 菅野 喜恵 (メイプルレッズ)	53点	(13試合)
14 内田 雄士 (大崎電気)	77点	(16試合)	15 伏見 麻美子 (バイオレットアイリス)	52点	(14試合)
14 今村 彰伸 (豊田合成)	77点	(17試合)	15 伊藤 亜衣美 (バイオレットアイリス)	52点	(14試合)

フィールド得点賞

1 宮崎 大輔 (大崎電気)	115点	(17試合)	1 郭 惠 静 (ソニー)	101点	(14試合)
2 末松 誠 (大同特殊鋼)	109点	(17試合)	2 上町 史織 (北國銀行)	78点	(14試合)
3 中畠 嘉之 (トヨタ紡織九州)	102点	(17試合)	3 横嶋 かおる (北國銀行)	66点	(14試合)
4 竹田 寛明 (Honda)	100点	(17試合)	3 東濱 裕子 (オムロン)	66点	(14試合)
5 村上 秀行 (トヨタ紡織九州)	97点	(17試合)	5 佐久川 ひとみ (オムロン)	61点	(14試合)
6 門山 哲也 (トヨタ車体)	93点	(17試合)	5 洪 廷 昊 (オムロン)	61点	(14試合)
7 新 建 二 (湧永製薬)	89点	(17試合)	7 李 キョンミン (メイプルレッズ)	58点	(14試合)
8 村山 裕次 (琉球コラソン)	87点	(17試合)	8 高栖 由香 (ソニー)	56点	(14試合)
9 高田 匠 (琉球コラソン)	85点	(16試合)	9 城内 真紀 (オムロン)	53点	(14試合)
10 神田 友和 (北陸電力)	83点	(17試合)	9 菅野 喜恵 (メイプルレッズ)	53点	(13試合)

シュート率賞 (フィールド得点ベスト10を対象)

1 末松 誠 (大同特殊鋼)	109点/175射 0.623	1 横嶋 かおる (北國銀行)	66点/ 83射 0.795
2 村上 秀行 (トヨタ紡織九州)	97点/157射 0.618	2 城内 真紀 (オムロン)	53点/ 78射 0.679
3 宮崎 大輔 (大崎電気)	115点/196射 0.587	3 佐久川 ひとみ (オムロン)	61点/ 93射 0.656
4 新 建 二 (湧永製薬)	89点/152射 0.586	4 高栖 由香 (ソニー)	56点/ 89射 0.629
5 中畠 嘉之 (トヨタ紡織九州)	102点/175射 0.583	5 上町 史織 (北國銀行)	78点/ 137射 0.569

7mスロー得点賞

1 村山 裕次 (琉球コラソン)	34点	(17試合)	1 上町 史織 (北國銀行)	47点	(14試合)
2 渡久山 慶一 (豊田合成)	28点	(17試合)	2 伏見 麻美子 (バイオレットアイリス)	34点	(14試合)
3 末松 誠 (大同特殊鋼)	23点	(17試合)	3 樋口 真央 (ソニー)	33点	(14試合)
3 柳本 義文 (Honda)	23点	(17試合)	4 植垣 暁恵 (メイプルレッズ)	23点	(14試合)
5 岩 永 生 (大崎電気)	22点	(17試合)	5 藤井 紫緒 (オムロン)	20点	(13試合)

7mスロー阻止率賞 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象)

1 東 佑 三 (大崎電気)	10本/ 23射 0.435	1 田代 ひろみ (北國銀行)	10本/ 22射 0.455
2 田平 龍太郎 (トヨタ車体)	19本/ 51射 0.373	2 毛利 久美 (バイオレットアイリス)	10本/ 28射 0.357
3 高木 尚 (大同特殊鋼)	10本/ 27射 0.370	3 浅井 友可里 (バイオレットアイリス)	10本/ 31射 0.323
4 兼浦 裕也 (Honda)	9本/ 29射 0.310	4 近藤 澄江 (HC名古屋)	13本/ 43射 0.302
5 石原 秀久 (大崎電気)	7本/ 23射 0.304	5 藤間 かおり (オムロン)	8本/ 32射 0.250

第33回日本ハンドボールリーグ成績表

第18週終了 2月22日

順位	男子	大同特殊鋼	大崎電気	湧永製薬	トヨタ車体	トヨタ紡織九州	Honda	北陸電力	琉球コラソン	豊田合成	トヨタ自動車	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	大同特殊鋼		30 33 ○ ○	27 ○	32 34 ○ ○	38 27 ○ ●	27 38 ○ ○	41 29 ○ ○	37 36 ○ ○	40 32 ○ ○	39 41 ○ ○	17	16	0	1	32	581	373	208
2	大崎電気	21 26 ● ●		27 31 △ ○	30 ●	33 36 ○ ○	35 27 ○ ○	33 36 ○ ○	49 38 ○ ○	33 39 ○ ○	43 45 ○ ○	17	13	1	3	27	582	451	131
3	湧永製薬	23 ●	27 22 △ ●		29 25 ○ ●	28 32 ○ ○	28 27 ○ ○	32 33 ○ ○	35 34 ○ ○	39 36 ○ ○	27 41 ○ ○	17	13	1	3	27	518	411	107
4	トヨタ車体	20 30 ● ●	32 ○	28 38 ● ○		25 23 △ △	36 33 ○ ○	30 32 ○ ○	32 36 ○ ○	43 36 ○ ○	37 42 ○ ○	17	12	2	3	26	553	429	124
5	トヨタ紡織九州	18 33 ● ○	28 31 ● ●	26 30 ● ●	25 23 △ △		28 30 ○ ○	38 28 ○ ○	35 38 ○ ○	38 44 ○ ○	37 ○	17	10	2	5	22	530	470	60
6	H o n d a	23 23 ● ●	33 23 ● ●	21 19 ● ●	27 29 ● ●	25 25 ● ●		29 ○	36 39 ○ ○	27 28 ● ○	29 30 ○ ○	17	6	0	11	12	466	486	-20
7	北陸電力	25 15 ● ●	21 22 ● ●	18 16 ● ●	19 23 ● ●	32 27 ● ●	27 ●		34 29 ○ ●	29 24 ○ ○	23 30 ○ ○	17	5	0	12	10	414	517	-103
8	琉球コラソン	19 16 ● ●	22 26 ● ●	25 23 ● ●	21 25 ● ●	19 26 ● ●	26 31 ● ●	32 30 ● ○		35 ○	32 42 ● ○	17	3	0	14	6	450	606	-156
9	豊田合成	20 23 ● ●	21 31 ● ●	20 26 ● ●	28 19 ● ●	19 33 ● ●	28 18 ○ ●	27 23 ● ●	34 ●		31 26 ○ ○	17	3	0	14	6	427	566	-139
10	トヨタ自動車	23 15 ● ●	33 26 ● ●	17 19 ● ○	21 19 ● ●	22 ●	23 24 ● ●	22 22 ● ●	35 29 ○ ●	19 24 ● ●		17	1	0	16	2	383	595	-212

順位	女子	オムロン	ソニーセミコンダクタ九州	北國銀行	広島メイプルレッズ	三重ハイオレットアイリス	HC名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	オムロン		30 29 30 ○ ● ○	22 25 26 △ ○ ○	31 34 30 ○ ○ ○	33 29 ○ ○	36 36 34 ○ ○ ○	14	12	1	1	25	425	290	135
2	ソニーセミコンダクタ九州	27 31 22 ● ○ ●		21 25 29 ● ○ ○	34 29 ○ ●	26 33 27 ○ ○ ○	34 36 41 ○ ○ ○	14	10	0	4	20	415	332	83
3	北國銀行	22 23 22 △ ● ●	23 22 27 ○ ● ●		29 28 30 ○ ○ ○	28 30 24 ○ ○ ●	38 33 ○ ○	14	8	1	5	17	379	305	74
4	広島メイプルレッズ	22 21 24 ● ● ●	21 31 ● ○	21 14 26 ● ● ●		22 16 24 ○ ● △	37 26 28 ○ ○ ○	14	5	1	8	11	333	357	-24
5	三重ハイオレットアイリス	18 22 ● ●	21 22 22 ● ● ●	18 21 30 ● ● ○	16 19 24 ● ○ △		26 26 26 ○ ○ ○	14	5	1	8	11	311	355	-44
6	H C 名古屋	12 14 10 ● ● ●	17 17 20 ● ● ●	14 13 ● ●	22 19 12 ● ● ●	19 21 23 ● ● ●		14	0	0	14	0	233	457	-224

※この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1. 対戦間勝点 2. 対戦間得失点差 3. 総得失点差 4. 総得点 の多い順で順位付けしています。